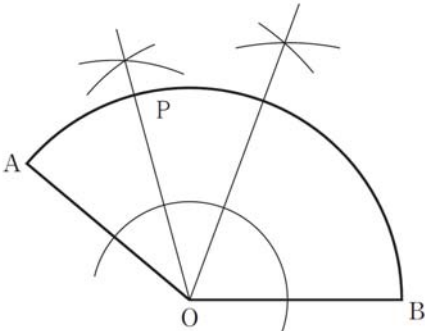


問題番号 配点	正 答 例	採点のポイント
<p>① 〔問 9〕 配点 6 点</p>		<p>○角の二等分線の作図の方法を用いて、$3\widehat{AP} = \widehat{BP}$となる点Pが正確に示されている。</p>
<p>② 〔問 2〕 配点 7 点</p>	<p>5 段目の 6 個のマスに入っている数をそれぞれ a, b を用いた式で表すと、左から、$a, 4a+b, 6a+4b, 4a+6b, a+4b, b$ となり、その和は、</p> $a + (4a+b) + (6a+4b) + (4a+6b) + (a+4b) + b = 16a+16b = 16(a+b) \text{ となる。}$ <p>また、1 段目の 2 個のマスに入っている数の和は $a+b$ と表せる。</p> <p>よって、5 段目の 6 個のマスに入っている数の和は、1 段目の 2 個のマスに入っている数の和の 16 倍となる。</p>	<p>○5 段目の 6 個のマスに入っている数が、それぞれ a, b を用いた式で適切に表されている。</p> <p>○式の変形ができ、適切に処理されている。</p> <p>○5 段目の 6 個のマスに入っている数の和が、1 段目の 2 個のマスに入っている数の和の 16 倍になることが的確に示されている。</p>
<p>④ 〔問 2〕 ① 配点 7 点</p>	<p>$\triangle ABP$ と $\triangle QCB$ において、 四角形 $ABCD$ は長方形だから、 $\angle PAB = 90^\circ$ 半円の弧に対する円周角は直角だから、 $\angle BQC = 90^\circ$ よって、 $\angle PAB = \angle BQC \dots\dots\dots (1)$ 長方形の対辺は平行だから、$AD \parallel BC$ 平行線の錯角は等しいから、 $\angle APB = \angle QBC \dots\dots\dots (2)$ (1), (2) より、2 組の角がそれぞれ等しいから、 $\triangle ABP \sim \triangle QCB$</p>	<p>○正しいと認められる事柄について、根拠を明確にして記述し、仮定から結論を導く推論の過程が的確に示されている。</p>

各学校において、採点のポイントを踏まえて『部分点の基準』を作成し、『部分点の基準ごとの点数』を定めること。

なお、受検者の実態等に応じて、次の例のように詳細な基準を定めることができる。

- ・ 「○○について××が書かれている。」のように、具体的な内容を加えること。
- ・ 「○○と△△が書かれている。(3点)」「○○が書かれている。(2点)」「△△が書かれている。(1点)」のように、段階を設け、段階ごとの点数を設定すること。
- ・ 「誤字が一つ以上ある。(1点減点)」のように、部分点の基準を加えること。